

1. インストール説明書に JAI のインストールを追加しました。

バージョン 2.01 から TIN に TIFF などのオルソ画像を貼り付ける機能を追加しましたが、TIFF をリードするために JAI (Java Advanced Imaging) をインストールする必要があります。詳しくはインストール説明書を参照してください。

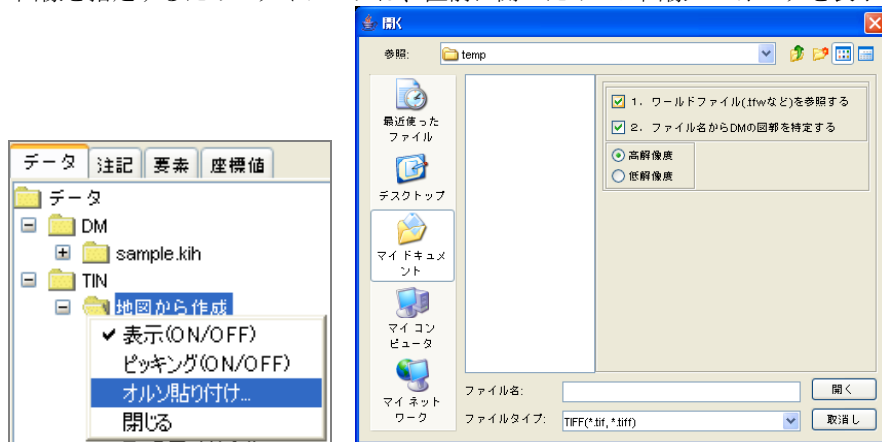
2. オルソ貼り付け

バージョン 2.01 から新機能[オルソ貼り付け]を追加し、2.02 でいくつか修正しました。

- ワールドファイルの行頭にスペースがある場合、ワールドファイルのリードに失敗していました。スペースがあってもリードするようにしました。
- オルソ画像のファイル名と、開いている DM ファイル名のマッチングで、ファイル名が” Map” , ” Tin” , ” Img” で始まる場合、この3文字の後の文字列を比較します。
- オルソ画像ファイルを選択するダイアログで、直前に選択したフォルダをデフォルトとして表示します。

以下は、操作説明書からの抜粋です。

オルソ画像を TIN に張り付けます。DM データから作成した TIN あるいはファイルからリードした TIN が対象です。TIN データ毎にオルソ画像ファイルを指定します。ひとつの TIN データに複数のオルソ画像ファイルを指定することができます。オルソ画像を指定するためのダイアログは、直前に開いたオルソ画像のフォルダを表示します。



【ワールドファイル(tfw など)を参照する】 オルソ画像についてワールドファイルがあれば、これから貼り付ける範囲を取得します。ワールドファイルの座標値は平面直角座標系のメートル単位とします。

イメージ	イメージの拡張子	ワールドファイルの拡張子
TIFF	*.tif *.tiff	*.tfw
JPEG	*.jpg *.jpeg	*.jgw
GIF	*.gif	*.gfw

【ファイル名から DM の図郭を特定する】 オルソ画像のファイル名から、同じ名前前の DM が開いてある場合、その DM の図郭の範囲をオルソ画像を貼り付ける範囲とします。

例：DM ファイル名[sample.kih]、イメージファイル名[sample.tif]の場合、イメージを図郭全体に貼り付けます。また、イメージファイル名が DM ファイル名+数値の場合、図郭を4分割した範囲に貼り付けます。

1 sample1.tif	2 sample2.tif
3 sample3.tif	4 sample4.tif

sample.kih の図郭を4分割

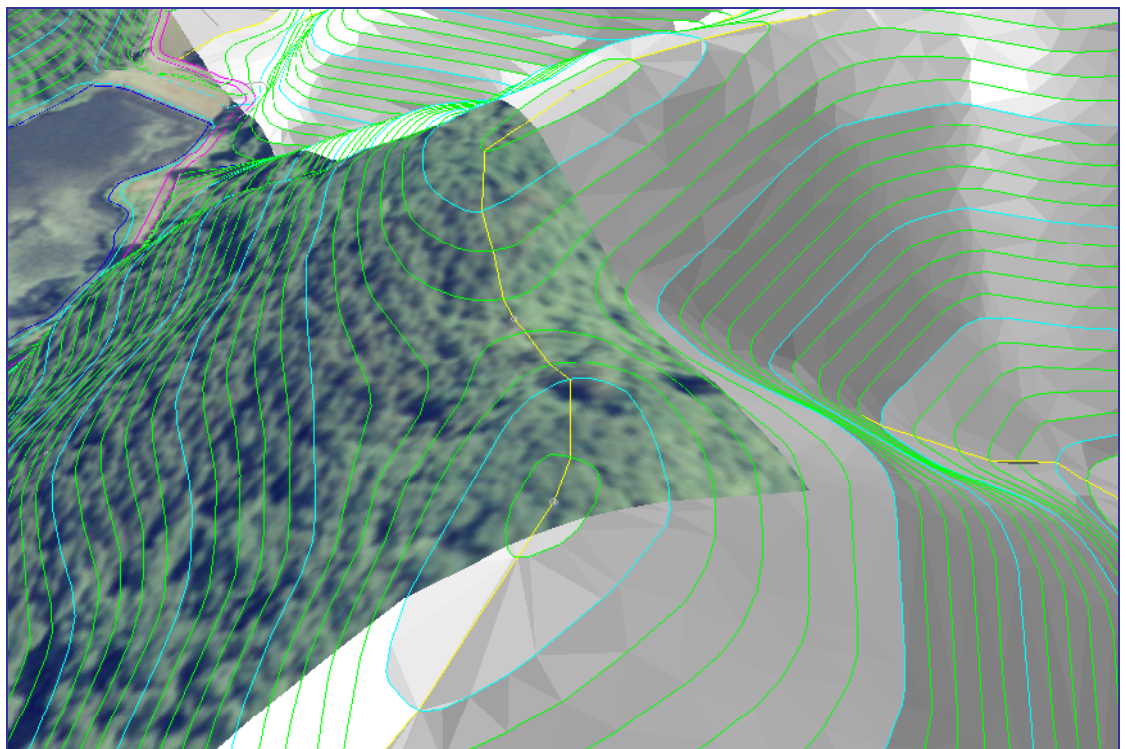
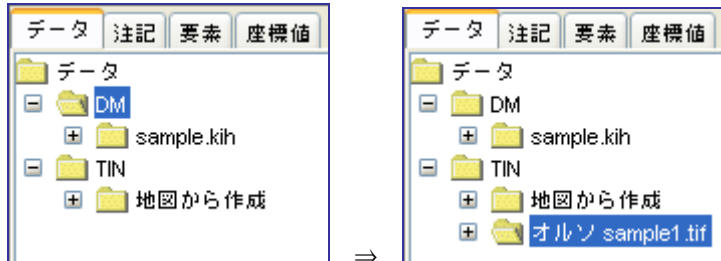
DM とオルソ画像ファイル名が” Map” , ” Tin” , ” Img” (大文字小文字両方) で始まる場合、この3文字の後

の文字列で判定します。例えば、” MapAA000.kih” と” ImgAA0001.tif” は、DM 図郭の左上で一致していることとなります。

【高解像度】オルソ画像をそのまま TIN に貼り付けます。メモリ使用量が大きくなります。

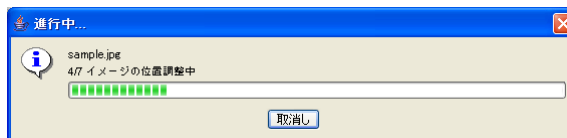
【低解像度】オルソ画像の縦横サイズが 1024 ピクセルより大きい場合、内部的に画像の縦横サイズを 1024 ピクセルに縮小して表示します。縮小により本来の画像より画質が粗くなります。

オルソ画像を貼り付ける範囲が、TIN の一部になることがあります。オルソ画像の範囲と重なる部分の TIN を切り出して、別の TIN データとして表示、管理します。データパネルには「オルソ」+「ファイル名」を表示します。



図郭の 4 分の 1 の範囲にオルソ画像を貼り付けた例。「地図から作成」 TIN の上側に「オルソ sample.tif」を表示しています。

オルソ張り付けでは、大きなサイズのイメージを扱うことが多いので、大量もメモリを必要とし、また処理に時間がかかります。いくつかの処理 (7 ステップ) の組み合わせなので、進行中を表すダイアログでは進行状況を正確に表示できません。特に「4/7 イメージの位置調整中」では時間がかかり、処理が止まっているように思われるかも知れません。また「取消し」ボタンを押しても、1 ステップが終わるまで待たなければなりません。最初は「低解像度」で試されることをお勧めします。



TIFF を貼り付ける場合、Java2 の実行環境に「Image I/O in Java Advanced Imaging」がインストールされている必要があります。これがインストールされていないと TIFF ファイルを読むことができません。詳しくはインストール説明書を参照してください。